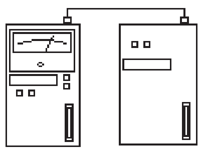
○　参考使用例

RF発振器と組み合わせて同軸ケーブル回線や周辺機器の点検、調整ができます。
RF発振器と広帯域電界強度計の間に被測定物（フィルタ、アンプ、分配器など）を接続して、周波数を変化させれば周波数ごとの通過特性（ロス）がわかります。これにより目的周波数に於いて同軸ケーブルや周辺機器が正しく動作するかの確認ができます。　通過ロスが目的周波数に於いて多すぎるときは、機器やケーブルの交換や点検が必要です。

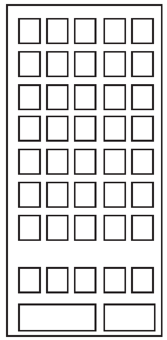
同軸ケーブルや機器の点検



1. まずメータの基準値を設定（0dBに合わせる）
2. 被測定物を中間に接続して通過ロスを測定する
3. 通過ロスが多すぎるときは、交換、点検が必要

広帯域電界強度計とRF発振器の間に被測定物を接続して点検、調整

高層ビルの共聴回線の点検



屋上のアンテナの換りにRF発振器を接続、各部屋の通過ロスを測定

○　使用上の注意

△　本機は、精密部品を使用していますから、強い衝撃や落下には充分ご注意下さい。
△　本機の出力端子には、外部の出力や電圧は、絶対に加えないで下さい。
　　回路が焼損します。
△　水に濡れないようにご注意下さい。
△　本機は、出荷時に完全調整されていますから、内部のトリマーなどは回さないで下さい。

性能改善のため、予告なしに回路及び定数などを変更することがあります。

LOCATION ANALYZER

広帯域電界強度計
LA-310
取　扱　説　明　書

このたびはLA-310をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機の性能を充分発揮させていただくため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用願います。



株式会社　ク　ラ　ニ　シ

153-0061　東京都目黒区中目黒1-10-24　共栄ビル4階
TEL 03-3793-3311　FAX 03-3793-3788
サービス直通電話　03-3711-9510

www.kuranishi.co.jp